

第4回 国道2号茶屋交差点整備検討会を開催します

1. 主旨

国道2号の宇部市「茶屋交差点」及び「船木大橋西詰交差点」においては、地域の方々から交通安全の課題や改良等の強い要望を頂いていることを踏まえ、より生活実感を反映した交通安全対策を立案・展開するため、道路利用者（地域の方々）、交通管理者（警察）、道路管理者（国・県・市）の三者による意見交換の場として、「誰もが安全で安心して利用できる道路」についての検討会「国道2号茶屋交差点整備検討会」を設置し検討を進めているところです。

今回、第4回目となる検討会では、これまでに地域の方々から頂いたご意見を踏まえ、茶屋交差点などの改良事業へ反映させるため、交通安全対策の整備方針（案）について、地域の方々と意見交換を行うこととしています。

2. 検討会のメンバー

コーディネーター：山口大学 理工学研究科 田村准教授

地 元：地域住民代表（自治会長、楠地域審議会会長、宇部市議会議員など）

学 校：楠中学校校長、楠中学校PTA会長

船木小学校校長、船木小学校PTA会長

警 察：宇部警察署

行 政：宇部市、山口県、国土交通省山口河川国道事務所

3. 開催場所

場 所：宇部市楠総合センター 2階 中会議室

（宇部市大字船木 442-11）



《参考》

国道2号茶屋交差点整備検討会(これまでの開催結果)

[第1回検討会 概要] (平成20年11月5日開催)

第1回の検討会では、山口大学 理工学研究科 田村准教授をコーディネーターに、地元住民代表者や船木小学校、楠中学校の学校関係者、宇部警察署、道路管理者（宇部市、山口県、国）などの参加により、茶屋交差点などの現状や交通安全上の課題などについて、意見交換を行いました。



▲第1回検討会の状況

[第2回検討会 概要] (平成20年11月22日開催)

第2回の検討会では、より多くの地域の方々の声を聞くため、地域にお住まいの方々や学校関係者に呼びかけを行い、行政（宇部市、国）など45名が参加し、茶屋交差点などの現状について現地での点検を行いました。

その後、場所を船木ふれあいセンターに移して、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

参加者からは、「横断歩道が無いので不便」、「市道からの右折が難しい」など多くのご意見をいただきました。



▲第2回検討会の状況
(現地点検状況)

[第3回検討会 概要] (平成21年1月7日開催)

第3回目の検討会は、第2回の検討会に参加いただいた地域にお住まいの方々を中心に38名が参加し、前回いただいたご意見を踏まえ、交通安全対策の整備の方向性などについて、ワークショップ形式で意見交換しました。

意見交換では、整備の方向性について、概ね了解をいただきました。参加者からは、「隣接する区間の歩道拡幅も行って欲しい」や「工事の完成に時間がかかるため、横断歩道の設置や走行車両のスピードを落とす工夫など、できることから対策を行って欲しい」などご意見をいただきました。



▲第3回検討会の状況
(ワークショップ状況)

今後は、これまでの地域の方々からいただいたご意見を踏まえ、交通安全対策の整備方針（案）について検討を進めます。

国道2号茶屋交差点整備検討会 スケジュール(予定)

H20. 11. 5 (水)

第1回検討会

- ・ 検討会の主旨
- ・ 検討経緯、現況と課題
- ・ 整備計画への要望等

H20. 11. 22 (土)

第2回検討会 (ワークショップ)

- ・ 現地検討会
- ・ 意見交換

H21. 1. 7 (水)

第3回検討会 (ワークショップ)

- ・ 現地検討会での意見整理
- ・ 整備の方向性について
- ・ 意見交換

H21. 2. 5 (木)

第4回検討会

- ・ 交差点等整備方針(案)の提示
- ・ 意見交換
- ・ 道路整備の今後の進め方